

## ドミニオン オブ クライスト 2024年

台風シーズンが長引き、暑さも半端なく、地球が温暖化現象によって、完全に変化しつつあると実感できるこの頃です。

あっという間にフィリピン恒例のバーマンス（セプテンバーからディッセンバー）が到来、渋滞に悩まされる季節です。ドミニオンも新天地において、せわしく月日が流れています。

### <愛を語る特別集会>

フィリピンで絶大な人気と知名度を誇るクリスチャンバンドのグローリーフォールから、ファイセンご夫妻をお招きして、愛や結婚についての集会が開かれました。チョコレートやケーキ等の甘いお菓子を用意して、ご夫妻とのパネルディスカッションを設けました。未信者の方も6名来てくださり、聖書を通して、クリスチャンがどのような結婚観を持っているのか話す良い機会となりました。



### <あなたの足の踏む所を>

新しい会堂での活動が始まったとは言え、まずは地域の人々に教会があることを知ってもらう必要があります。自分たちの足で歩き回って、地道にトラクト配りをするところから始めます。カトリック色が濃い地域なので、トラクトさえ拒否する方々もありますが、水の上にパンを投げている感じになりつつも、数打ちや当たる方式でやっています。時が来て実がなることを祈りつつ。

今年のイースターは、コロナ後初めて、「遠距離移動に制限なし」ということで、多くの教会の兄弟姉妹も何年振りかで帰郷することができました。教会としても改修工事に大金を投じたということもあり、キャンプなしとなりましたが、そのかわりトラクト配布をしました。

ドミニオン特製イースターバッジとトラクトを、地域の家々に配りました。



## <ハイスクールの新学期3日前>

昨年よりつながりを持っている、教会の後ろに位置するカルロス ロムロ ハイスクールより依頼を受け、新学期を始めるにあたり、学校の大掃除をしようということになりました。ケソン市中の公立学校が一斉に行く大掃除なのですが、当日は、ジュン牧師によるショートメッセージ、100人分のお弁当、2階と3階にある教室の掃除が、ドミニオンに課せられました。これは願ってもない天からの贈り物です。事前には知らされていなかったのですが、軍の兵士たちも掃除に参加していて、私たちとともに大掃除をしました。教会の用意したお弁当は、軍の兵士の方々のためとなり、1人ずつ声をかけながら、バッジとトラクトとドリンクを渡しました。

2月末から使用されていなかった学校は、窓がないため風雨にさらされて、想像を絶するほど汚れていました。日本とは、環境も文化も方式も異なるために、理解に苦しみますが、新学期に備えて生徒以外の大人たちが大掃除をします。そのおかげで、教会にも声をかけていただき、父兄の有志の方々、軍の兵士の方々、校長先生をはじめとした先生方と話す機会も与えられ感謝です。小さな行動を通して、学校と繋がっていただけると願います。



学校と軍関係者を前に語るジュン牧師



軍関係者へ手渡しされるドミニオン弁当

## <台風シーズン到来>

世界中が、沸騰する地球の痛みを、異常気象という形で経験しています。フィリピンも尋常ではない豪雨に見舞われました。例年よりも頻繁にです。教会の2家族の兄妹たちも、屋根の上で救助を待っていたそうです。誰一人として最悪の状況には陥らなかったことが感謝なことでした。あまりの長雨と豪雨によって、教会のある2階でさえ、壁からの水漏れにより会堂内が冠水、ひどい湿気と浸み出す水によって、床に物を置くことができない状態が続き、水気を含んだ床にすることができない害虫ですら、積み重ねた椅子等が上がってきってしまったほどです。こればかりは泣きたいほどうんざりしましたが。。

これこそ、ここだけの問題ではなく、今や世界中の抱える問題であり、こんなことは他の方々の抱える状況に比べたら何でもないことなのだと思います。守ってくださっている神様に感謝！





教会近くの大動脈もこの通り、都市部マニラも水没の被害が！

### <来年度の家賃支払い完了！>

教会のあるビルの他のテナントは、教会の3分の1以下の床面積に対して、2.5倍の賃貸料を支払っています。この国では、オーナーさんは、賃貸料を毎年好きなだけ値上げが可能という法律があるのですが、借りる時も奇跡の値段になった上に、来年度1年分を前払いするならば据え置きということで話がまとまりました。他のテナントの方々には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいですが、私たちにとっては、神様からの恵みの奇跡であり、言葉にはならないほどの感謝でいっぱいです。それにしても、神様はなんと豊かさに満ち溢れた方なのでしょう。天の大窓を開いて、私たちの必要を全て満たしてください、喜びで溢れさせてください。来年度分の支払い完了、ハレルヤ！

### <創立記念日>

コロナ以降、遠方に行ってしまい音信不通になっていた方々が3名訪ねてくれました。状況はどうか、心の行き場のない人の家族になりたいと考えているドミニオンなので、温かいぬくもりを感じて欲しいと願います。ポットラックで持ち寄ったごちそうの山、バイブルゲーム、大人も子供も楽しめる日曜日となりました。ドミニオンを見ると、本当に神にある家族が形成されているのだなあと感じます。リラックスしていて、恥ずかしいとかためらうとか、家の外にいるような感覚の人がいません。常にアットホームを目指して行きたいと思えます。



創立記念の名前入りバッジ



私たちは一つの家族！

## <お掃除グループ表彰！>

6月に、カルロス ロムロ ハイスクールでの大掃除に参加したドミニオンのグループが、学校より表彰されました。これを機に、学校内のリラックスルームにて、隔週で学生のためのメンタルヘルスカウンセラーとして招かれることになりました。校門においてのフリードリンク、バッジ、トラクト配布は続行ですが、それとは別件で、学校側から招かれるという特権に感謝です。生徒たちの心のケアが第一の目的であると学校側より言われていて、どうやって生徒たちの思いに寄り添うことができるか取り組みたいと願っています。

私たちは、ややもすると、持論を展開するために『聞く』ということをしてしまいがちですが、『聞く』ために『聞く』ということに徹底できたらと祈っています。

何事でも、根気よく忠実に続けることによって、結果は必ずついてくると信じます。持続性は持久性を生み、耐久性へと変化し、後には実を結ぶと信じて歩みます。そして、常に、『召し上がれ』と『おかえりなさい』の心を忘れずにいたいものです。



お掃除グループ表彰！



隔週のメンタルヘルスルームにて

## <祈りの課題>

カルロス ロムロ ハイスクールにおける働きが、救いの御業へと導かれるように。

私たち一人一人が、心の居場所のない人たちのホームとなれるように。

教会の霊的成長。